

姫宮神社古墳(南埼玉郡宮代町)

ここが姫宮神社



本殿の東側の八幡社は、周囲より2m程小高くなっており、かつて埴輪片が出土したことから古墳であると推定されると記されている

姫宮神社

所在地 宮代町字姫宮

姫宮神社は旧百間領の総鎮守で、祭神は多紀理毘売命・多岐津比売命・市杵島比売命の三柱を祀る。社伝では、桓武天皇の孫の宮目姫が当地に立ち寄った際、紅葉の美しさに見とれ、突然の病で亡くなったことを、後に慈覚大師円仁がこの話を聞き、姫の霊を祀ったのが始まりであるという。また、一説には、延長五年（九二七）成立の『延喜式』に記載される「武蔵国埼玉郡宮目神社」は当社のことであるという。

当社の本殿は、基壇の銘によると「正徳五年（一七一五）四月吉日」とあり、その頃建立されたと推定され、建築様式からも証明されている。一方、拝殿は、海老虹梁に文久三年（一八六三）の銘が記されている。拝殿内には絵馬が多数掲げられており、一部は町の指定文化財に指定されている。また、かつて所蔵していた応永二十年（一四一四）銘の鰐口は、現在、町の指定文化財として当社の別当寺であった前原の宝生院が所蔵する。

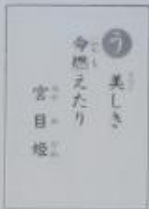
本殿の東側に八幡社が祀られている。元は別の神社であったが、明治三十五年（一九〇二）当社に編入された。なお、八幡社は、周囲より二メートル程小高くなっており、かつて埴輪片が出土したことから古墳であると推定される。



宮代町指定文化財絵馬（熊野詣）



みやしろ
郷土かるた



美しき
命燃えたり
宮目姫



宮代町

前方が姫宮神社社殿/手前の左手から埴輪が出土し、この辺りに3号墳(円墳)があったらしい



拝殿の背後の本殿は1mほど高くなっており、2号墳(円墳)とされている/現在の社殿は江戸期の再建



左手を見たところ/左手の建物は神楽殿



右手を見たところ/前方(東側)に八幡社がある



その八幡社を見たところ/明瞭な高まりがあり、これが1号墳(円墳)



近づいて見る



南側から見た八幡社



振り返って社殿を見ると本殿(右手)下にわずかな高まりが認められ、これが2号墳



本殿(2号墳)と八幡社(1号墳)との位置関係



これは南側から社殿(左手)が載る2号墳と八幡社(右手)が載る1号墳を見たところで、1、2号墳合わせて前方後円墳である可能性もあるとのこと



本殿(2号墳)と八幡社(1号墳)との墳丘の形態/前方後円墳だとすると左手(2号墳とされる本殿側)が後円部か



南東側から見たところ/手前の平場が周溝の名残りのように見える



1号墳の墳丘を東側から見たところ



墳丘の北側を東側から西方向に見たところ



北東側から見たところ



墳丘裾の辺りにこんなものがあった



さて、これは境内の西側で南側から北方向を見たところ/右手が境内



そこで右手を見ると社殿が見える



北側に回り込んで南方向を見たところ/右手が社殿、左手が八幡社/前方後円墳だとすると正面の辺りがくびれ部か



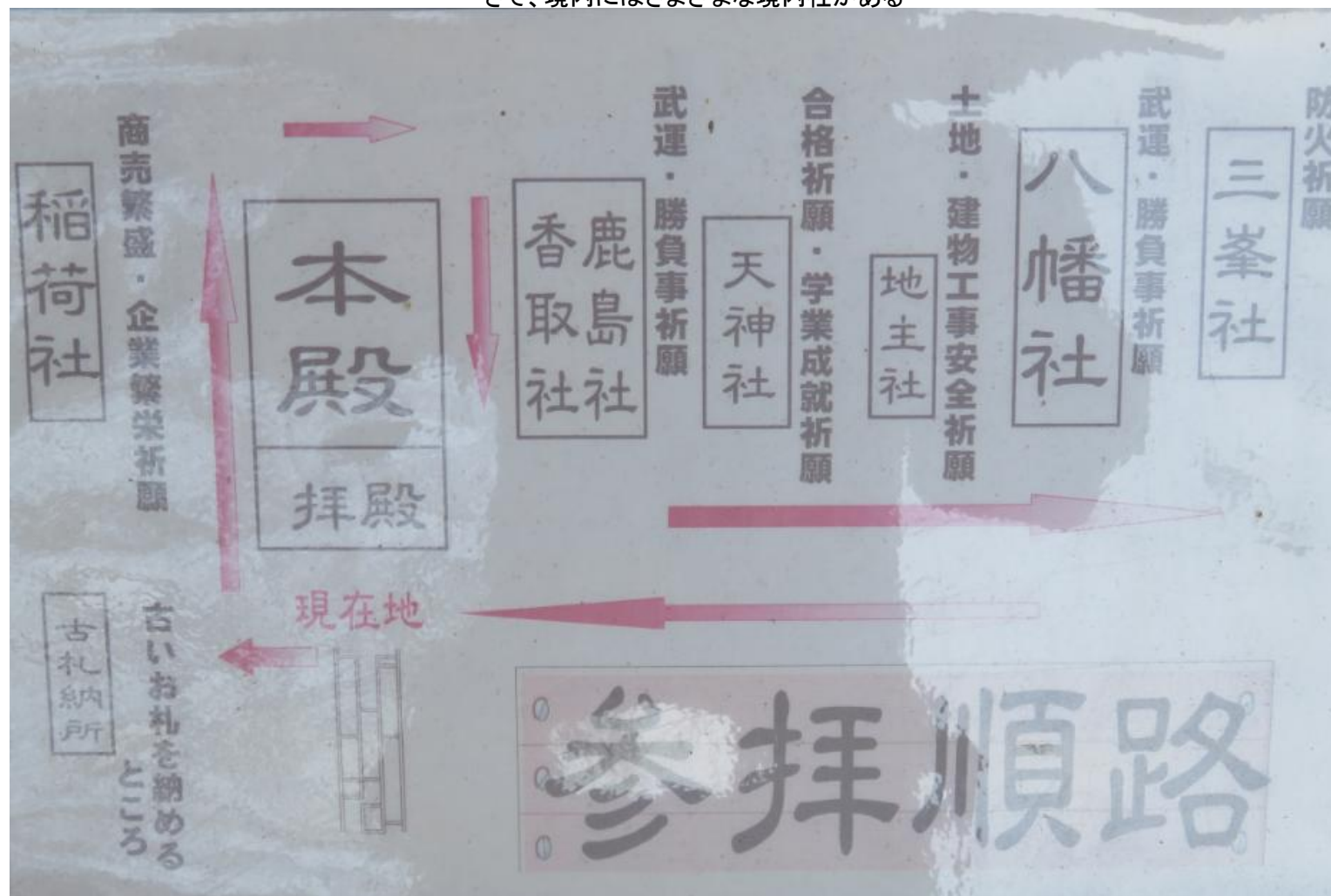
そこから右手の社殿を見たところ/後円部か



同じく左手の八幡社を見たところ/前方部か



さて、境内にはさまざまな境内社がある



これは社殿/正面が拝殿で左奥が本殿の覆屋



覆屋の下に本殿が見える



正面はその左手にある稲荷社



社殿の東側には香取社・巖島社(鹿島社)とその右側に天神社がある



右手から見たところ/手前が天神社



これが地主権現(地主社)



これは八幡社/右手は三峰社(三峯社)







そこから社殿方向を見たところ



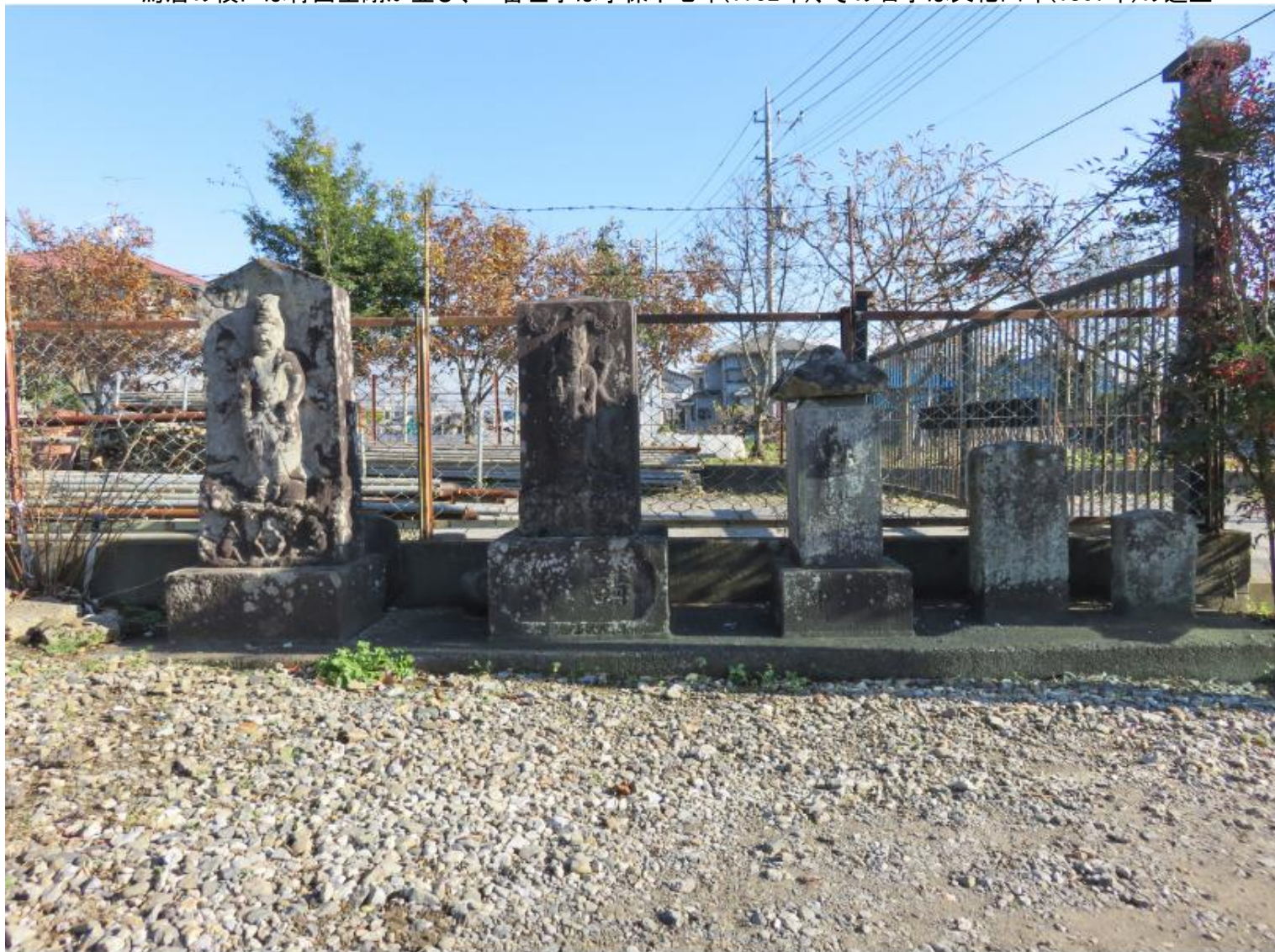
右手が三峰社(三峯社)



これが三峰社(三峯社)



鳥居の横には青面金剛が並び、一番左手は享保十七年(1732年)、その右手は文化四年(1807年)の造立



「姫宮古墳群で最も大きい古墳は八幡神社の墳丘と姫宮神社本殿の墳丘の二つの古墳ですが、形態から二つの古墳ではなく一つの前方後円墳の可能性が高いと推測されます」と記されている

姫宮神社古墳群

姫宮神社の伝承は、「桓武天皇の孫娘の宮目姫が下総国に行く途中、武蔵国百間の里の紅葉ヶ丘（現在の姫宮神社周辺）であまりに綺麗な紅葉を見ていたら風邪をひき亡くなってしまった。そのお姫様の亡骸を塚に葬ったため姫塚と呼ばれていた。その後、慈覚大師（円仁）がその話を聞き、その場所に宮を祀った」のが始まりと伝えます。少なくとも応永21年（1414）の鰐口に「姫宮」とあることから室町時代には姫の伝承があったことは間違いないでしょう。

姫塚は恐らく古墳のことを指すと推定されます。姫宮神社古墳群で最も大きい古墳は八幡神社の墳丘と姫宮神社本殿の墳丘の2つの古墳ですが、形態から2つの古墳ではなく1つの前方後円墳の可能性高いと推定されます。姫塚とはこの前方後円墳をいったのではないのでしょうか。周囲の台地からは埴輪が採集されますので、円形の張り出した台地全体が古墳群だったのでしょうか。

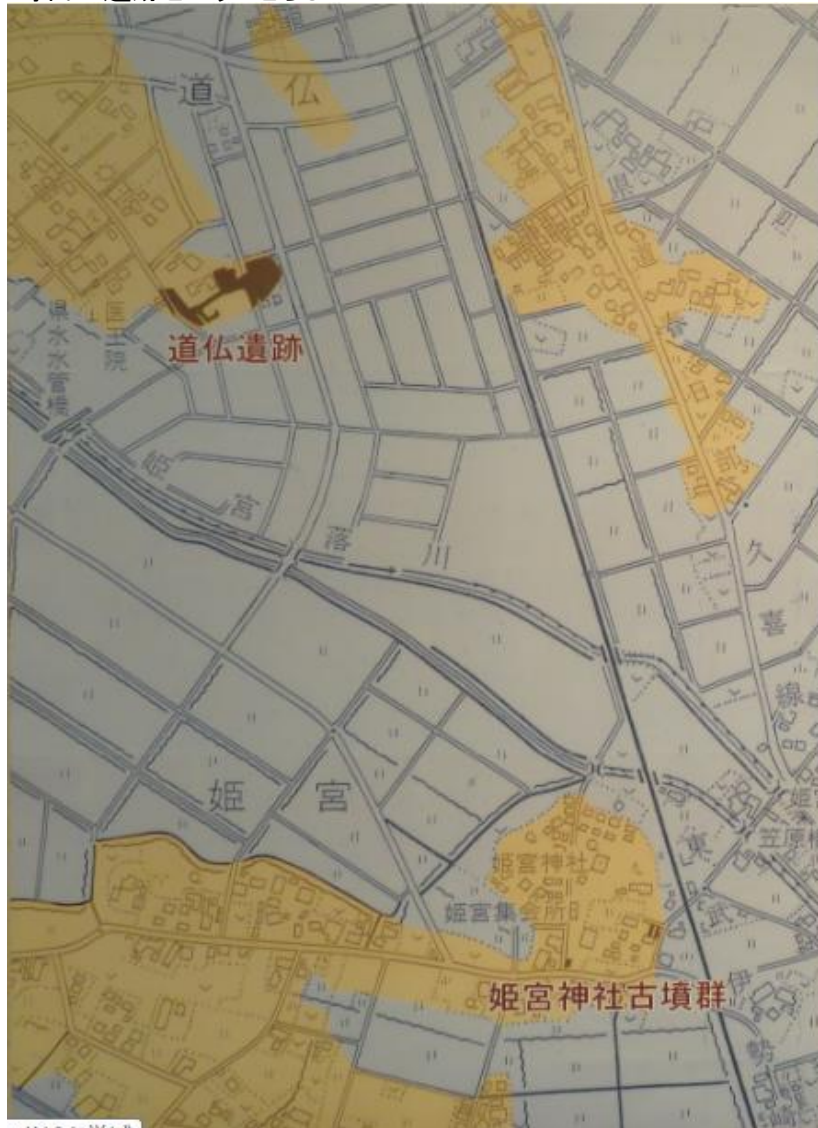
江戸時代にはこの場所は姫宮社、八幡社と御林でした。御林とは住民が出入りできない神聖な場所ですので、姫宮神社周辺は特別な場所と認識されていたと推定されます。



道仏遺跡から姫宮神社古墳群を望む



「道仏遺跡が5世紀後半から6世紀後半の古利根川水系の拠点集落で、姫宮神社古墳群は6世紀前半の古墳群でした。その距離の近さや年代から、姫宮神社古墳群は道仏遺跡のムラ長の墓であったと推定されます」と記されている/道仏遺跡と姫宮神社古墳群は密接な関係がある同じ時代の遺跡ということらしい



道仏遺跡と姫宮神社古墳群との関係

道仏遺跡の南側約750mの位置に姫宮神社古墳群があります。道仏遺跡が5世紀後半から6世紀後半の古利根川水系の拠点集落で、姫宮神社古墳群は6世紀前半の古墳（お墓）群でした。その距離の近さや年代から、姫宮神社古墳群は道仏遺跡のムラ長の墓であったと推定されます。

姫宮神社古墳群は本格的な発掘調査は行われていないため詳細は不明ですが、周囲の試掘調査や神社境内の表採資料からは5世紀終末から6世紀前半の埴輪や土師器が出土していますので、道仏遺跡と姫宮神社古墳群は密接な関係がある同じ時代の遺跡といえます。

参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/miyasiro_himemiya/

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/85_mysr/himemiya1.html

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/85_mysr/himemiya2.html

<http://www.town.miyashiro.lg.jp/0000002693.html>

<http://skyimpulse.s26.xrea.com/miyasiro.html>

<http://glassesmaiden.blog81.fc2.com/blog-entry-3355.html>

<http://kagura.wa-syo-ku.com/%E5%AE%AE%E4%BB%A3%E7%94%BA%E3%81%AE%E7%A5%9E%E7%A4%BE/%E5%A7%AB%E5%AE%AE%E7%A5%9E%E7%A4%BE>

https://blogs.yahoo.co.jp/sunekotanpako/14024747.html?_yp=5aer5a6u56We56S%2B5Y%2Bk5aKz77yI5Y2X5Z%2B8546J6YOh5a6u5Luj55S677yJ

<http://tamtom.blog44.fc2.com/blog-entry-1890.html>

